



愛知県豊橋市の公道で自動運転の実証実験を実施しました

愛知県豊橋市郊外において、2017年8月28日（月）～8月30日（水）の3日間にわたって、自動運転の実証実験を実施しました。これは、愛知県が県下10市町において実施する「平成29年度自動走行実証推進事業」の一環としてのもので、当社は、自動走行車の運行をはじめとして自動走行のための高精度3Dマップの作成、並びに遠隔型自動走行システム分野での技術提供を行っています。

今回は、「豊橋サイエンスコア～天伯団地～豊橋技術科学大学～JAあぐりパーク食彩村」を結ぶ約4kmの公道において走行実験を行うと共に、豊橋市在住の住民の皆様にもモニターとして実験車両に乗車いただきました。

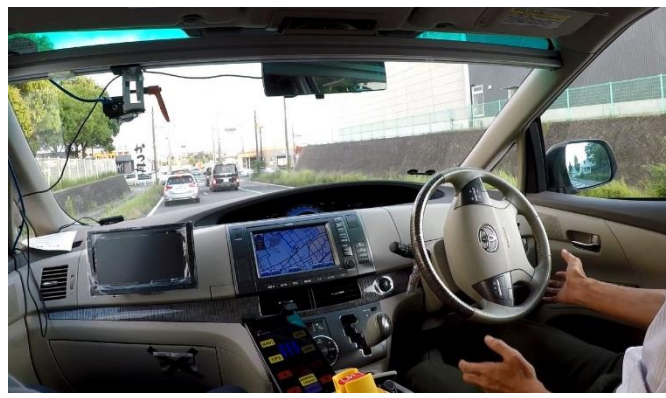
実験の成果につきましては、将来的な地域の足となる交通対策等に活用されることが期待されています。

【実証実験の様子】

自動運転には実用化に向けた5つの段階がありますが、今回は、「加速・操舵・制動を全てシステムが行い、システムが要請したときのみドライバーが対応する状態」、いわゆる、緊急時をのぞき運転を車に任せる「レベル3」の技術の実証実験を行いました。実証実験では加速やハンドル、ブレーキなどの操作をシステムが自動で行い、各種データを収集しました。



自動走行実証実験用車両（通称：ロボカー）



運転手が手を離れた状態で住宅地を自動走行する実験車両

自動運転中の車内の様子です。
自動運転と人による運転をタッチパネルで変更することができます。



公道を走る自動運転車の様子（豊橋市天伯町）

東日新聞 2017年8月31日版より写真を抜粋
<http://www.tonichi.net/news/index.php?id=62623>

【免責とお断り・注意事項】
本通信及び弊社ホームページの記載事項は、株主・投資家の皆様お客様に対する、迅速な情報公開・提供を目的とし、投資勧誘を目的としているものではありません。